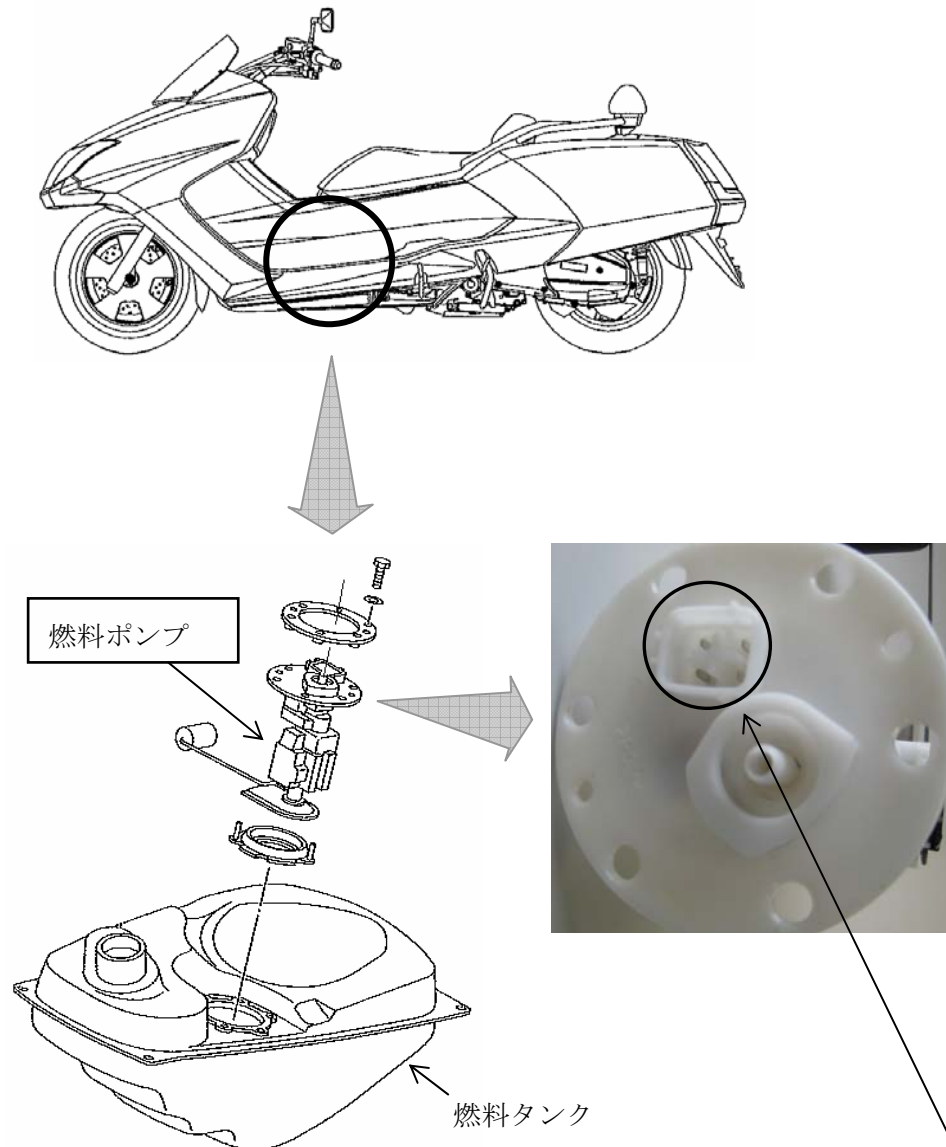


改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

燃料タンクにおいて、燃料ポンプに至る電気配線の防水性が不適切なため、電気配線に入った水が当該ポンプのカプラ内に浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、端子が腐食して折損し、燃料ポンプが作動しなくなり、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容：全車両、水抜き機能を有するカプラ付サブハーネスと交換する。

また、燃料ポンプのカプラ内の端子を点検し、錆びているものは、燃料ポンプを新品と交換する。

識別：車両右側メインスタンドブラケット付近に白ペイントを塗布する。

注： は不具合部品を示す。